

重量鳶

とび



数百トンにもおよぶ重量物。
大型クレーンを使い、ミリ単位で据え付ける、
「現場の華」、それが重量鳶です。

大型クレーンで、重量物の設置を行う ダイナミックな仕事

建設業の中で、高い所で行う作業を専門とする職人を一般的に鳶職と言います。鳶職の中でも大型クレーンなどを使い、数百トンもの重量物を搬入・据付・設置を行うのが重量鳶。足場や鉄骨を取り扱う一般の鳶職とは異なり、ダイナミックな仕事を行うことから「現場の華」とも称される職種です。

プラント内では大型設備の搬入や設置・据付、橋梁工事の現場では、主桁の架設工事を行ったりします。ダイナミックな仕事を仲間と力を合わせて成し遂げる、非常にやりがいのある仕事です。

ミリ単位の精度で大重量物を据付ける、 繊細な一面

重量鳶の現場作業は、単に重いものを運ぶだけではありません。何百トンもある大型機械などをプラント内などに搬入して設置・据付を行う場合は、何十メートルもの高所、そして余裕が1センチに満たないスペースに、そのような重量物を運び込まなければなりません。わずかなズレすら作業の遅れや機械の故障の原因になるため、図面を正確に読み取り、1ミリ単位の繊細な作業を行わなければいけないのです。

単に力任せの仕事ではなく、専門知識と特殊技術を必要とする繊細な一面もあるのが、重量鳶の仕事なのです。

重量鳶



どのような人が重量鳶の仕事に向いていますか？



重量鳶の仕事は複雑、そしてプロフェッショナルが力を合わせる事が求められます。仲間と力を合わせて作業を進めていくことが好きな方には面白味を感じられる仕事です。



重量物とは、具体的にどのようなものを取り扱っていますか？



工作機械がメインですが、他にも貯蔵タンクなどの工場設備やMRIなどの医療機器、鉄道車両やロケット、美術品など、取り扱うものは多種多様です。



重量鳶が専門性が高いと言われる理由は何ですか？



特殊な設備、例えば大型の空調設備や給排水設備、電気設備などの運搬や設置を手掛けることもあり、それが他の鳶職に比べて専門性が高いと言われる理由です。



重量鳶の仕事のどのような部分にやりがいを感じますか？



日々の生活に欠かせない施設を作り上げる職種であること。誰もが知っている大規模な建築物の現場を手掛けることも多いです。

免許&資格

- ・とび技能士
- ・足場の組み立て等作業主任者
- ・玉掛け技能講習など

